

大阪・関西万博 国・大阪府・大阪市の費用負担見通し 2024年2月時点

(2023年12月22日「大阪・関西万博に要する府市の費用について」および2024年2月7日「大阪・関西万博に関連する国の費用について (Ver.2)」より)

	国	府市	
会場建設費	783億円	783億円	最大2,350億円を国、大阪府・市、経済界で1/3ずつ負担
夢洲地区埋立工事		21億円	
大阪メトロ中央線輸送力増強等		47億円	
大阪ヘルスケアパビリオン建設等		119億円	
日本政府館建設等	360億円		
途上国等出展支援	240億円		
会場内安全確保	199億円		
参加促進		40億円	
機運醸成等	40億円 + α	39億円	
誘致に要した費用	27億円	4億円	
その他		324億円 + α	
計	1,649億円 + α	1,378億円 + α	

会場運営費	1,160億円	チケット収入・ライセンス収入等でまかなう
-------	---------	----------------------

万博関連インフラ整備計画	9.7兆円	
「会場周辺インフラ整備」 中央線延伸、夢舞大橋拡幅など	810億円	
「会場へのアクセス向上」 淀川左岸線2期、北大阪急行延伸など	7,580億円	
「安全性の向上」 安威川ダム建設、鉄道可動式ホーム柵整備など	25,490億円	
「にぎわい・魅力の向上」 うめきた2期開発、枚方市駅前開発など	3,410億円	
「広域的な交通インフラ整備」 新名神高速建設、なにわ筋線建設など	59,280億円	

万博アクションプラン	2.8兆円
「健康・医療」「モビリティ」「環境」「スマートシティ・スタートアップ」「観光・文化、おもてなし」など、万博も活用して実証や発信をする	